

いて検討を進めたい。  
《その他の質問》 調布保谷 について

### 三鷹市の産業振興を担う 町工場に具体的支援を



日本共産党 岩田 康男 議員

**議員** 町工場には地域経済やコミュニティを支え、雇用や技術を確保する大きな役割があるにもかかわらず市内町工場数は減少している。中小企業を守る下請代金支払遅延等防止法等の適用状況を把握すべく、町工場の仕事内容等、現場の実態調査を行ってほしい。

**市長** 三鷹市産業振興計画2010の改定に当たり、中小企業への支援策を考えていく中で、実態調査等の必要性を検討していく。

**議員** 町工場が国・都の制度活用について相談でき、



精密測定機械室（三鷹産業プラザ）

### 保育所の待機児童問題 深刻な状況を打開せよ



日本共産党 大城 美幸 議員

**議員** 厚生労働省は、昨年10月1日時点の保育所待機児童数が4万6千58人、前年同月より5千84人増加したことを明らかにした。本

147人、157人、121人、134人、192人と推移してきた。本年4月1日現在で23人となり3年連続で増加している。

**議員** この問題は迅速さが問われる。特に力を入れている待機児童対策は何か。

**市長** 現実的な方法としては、民設民営認可保育所や認証保育所の開設誘導、特に社会福祉法人の参入について努力をしていきたい。

**議員** 次世代育成支援行動計画（後期計画）における今後の保育サービス目標の設定の考え方について伺う。

### 小・中一貫教育校と 学童保育事業の課題は何か



にし色のつばさ 嶋崎 英治 議員

**議員** 小・中一貫教育が実施された後、中学校校長の在任期間が1年ないしは2年というケースがある。この理由は何かと考えるか。

**教育部長** 個人的な事情がある。以前から短期間の異動はあり、小・中一貫教育の実施とは無関係である。

**議員** 小中学校の教員は、小・中一貫教育の現状をどのように認識しているか。

**教育部長** 学校教員間で学習内容等の意見交換ができ見通しを持った指導ができるという声を聞いている。

**議員** 学童保育所を今年度から市長部局が所管することによる課題とは何か。

《その他の質問》 三鷹市庁舎の総合管理について

### 人が生きるまちづくり 評価・検証のあり方を問う



にし色のつばさ 野村 羊子 議員

**議員** 男女平等行動計画について、①達成状況を踏まえた総合的な評価を伺う②その評価・検証のプロセスでどのように市民参加と協働が予定されているのか。

**市長** ①今年度、達成状況の検証と課題の抽出を行う予定②今回も協働による評価・検証に取り組み、新たな計画策定に向けて市民団体に提言をいただきたい。

**議員** 同行動計画には、市の率先行動として市管理職に女性職員の積極的登用を挙げているが、目標を達成していない。職場環境の整備が必要だ。解決策を伺う。



三鷹市女性交流室（三鷹市中央通りタウンプラザ）

### 日本国財政破綻の前に 本格的な事業仕分けを



にし色のつばさ 半田 伸明 議員

**議員** リーマン・ショックは民間レベルの破綻だったが、今回のギリシャ危機は

ぎず、麻酔はいずれ消える。やはり本格的に荒い治療をしなければならぬ。世界中が今まで拡大してきたものを縮小するという、全く逆のアプローチを迫られており、日本も巻き込まれるのは時間の問題と見ている。2011年後半まで円高不況が続くものの、その後は悪い円安に悩まされるのではないかと危惧している。財政破綻を目前にした我が国では、真にやらなければならない事業とは何かを考える時期に入っている。事が起きてからでは遅い。事が起きる前に、真に問われる官の役割を見つめ直した上で、三鷹市の全事業について、三鷹市ならではの軸をはっきりと定めた議論にはくみしない。

**市長** 行政や政府の本来的な役割とは、補完性の原理に基づき、個人や家族、あるいは住民自治組織などができないことを行うものとして認識している。三鷹市では、これまでも、常なる事業仕分け的な精査をしてきた。平成22年度予算は、今まで以上に歳出の無駄を徹底的に廃し、予算編成を進めた。三鷹市では、歴代市長が常に危機意識を持って財政運営に取り組んできた。もし、日本が財政破綻するようなことがあったら、国際社会、地球全体が存亡の危機に瀕するだろう。ただ危機をおおるといような、そうした議論にはくみしない。

### 家族・地域を守るために 今、議論すべき課題を問う



政新クラブ 伊東 光則 議員

**議員** 現在の国際情勢を考えたとき、永住外国人に対する参政権は到底賛成できない。市長の所見を伺う。

**市長** 国政でも与野党を問わず議論が交わされておりさらなる議論の場と時間が必要だと認識している。

**議員** 名字とは家族としての共同体のあかしである。夫婦別姓は先祖や子孫も含めた家族のきずなを弱めるものだ。夫婦別姓が認められれば、個人主義の社会へと向かい、家族の関係、地域活動にも多くの問題を引き起こす。持続可能な社会を崩壊させる夫婦別姓に断固反対する。所見を伺う。